NOV 22nd 2023

TMDU Innovation Park

M&Dタワー26F
ファカルティラウンジ
17:30-19:00

リアルに学内・企業・スタートアップ企業と
コミュニケーションが図れる交流会です。
コーヒーと軽食を準備してお待ちしています！

お申込みはこちら
※飛び込み参加もOKですが、受付での手続きを
簡略化できますので事前の登録をおススメします

参加者：TMDU/東工大研究者、大学院生・学生、企業

問い合わせ先　東京医科歯科大学 TMDU Innovation Park(TIP)事務局
開催責任者：飯田 香緒里（オープンイノベーションセンター長） 担当：川上 openinnovation.tlo@tmd.ac.jp

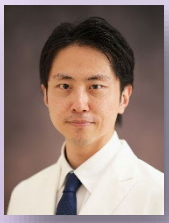
ポスターセッション発表者の紹介

歯周病学分野　助教　三上　理沙子

「口腔と全身の関連－人工透析患者に歯周病が与える影響ー」

歯周病は世界で一番罹患者数の多い感染症といわれ、抜歯の原因になるだけでなく、様々な全身疾患に悪影響を及ぼすことが知られています。私たちの研究グループでは、末期腎不全のため人工透析が必要になった患者さんにおいて口腔疾患が与える影響について研究を行ってきました。これまでに行ったコホート研究やデータベース研究の結果から、お口の健康と全身の健康の関連について分かってきたこと、今後の展望についてご紹介させていただきます。

整形外科学分野　助教　江川　聡



「骨を作る本当の『人工骨』」

整形外科領域では骨折や脊椎疾患など治療に骨癒合を要する疾患が多数ありますが、どんな手術を行っても骨癒合は自然治癒に依存しているのが現状で骨癒合に失敗することも少なくありません。ハイドロキシアパタイトなどの人工骨は臨床使用可能であるものの、細胞の足場として働くだけでそれ自身は骨形成を促進しません。私たちは全く新しい発想から骨誘導能を有する人工材料の開発に成功し、この整形外科医にとって夢のような物質の臨床応用に向けて取り組んでいます。

疾患生理機能解析学分野　准教授　松沢　優

「パネート細胞に着目したクローン病の病態解析と新規治療法の開発」

炎症性腸疾患の1つであるクローン病では、小腸のパネート細胞に異常が多く認められます。私たちはある種のT細胞がパネート細胞を保護する因子 API5を分泌し、クローン病患者ではこのAPI5を分泌するT細胞が減少していることを見出しました。現在、API5のパネート細胞への作用機構と、T細胞からの分泌に影響を与える生体内外の要因を解析中です。クローン病の新たな治療標的・バイオマーカーとしてAPI5を臨床応用することを目指しています。

免疫学分野　プロジェクト助教　國吉 佳奈子

「新規マクロファージサブタイプによる抗腫瘍メカニズムの包括的理解」

腫瘍疾患の増悪に大きな影響を与える腫瘍微小環境。私たちはこの腫瘍微小環境に働きかけて抗腫瘍効果を発揮する新規マクファージサブタイプを同定しました。この新規マクロファージの有する機能の解析を通して、抗腫瘍効果を発揮する新規分子の同定を行い、臨床応用することを目指しています。これまでに行ってきた基礎研究の結果を一部ご紹介させていただきます。

器官発生・創生学分野　大学院生　河村　峻太郎

「血管化肝臓オルガノイドを用いてヒト特異的な薬剤による免疫血栓のメカニズムに迫る」

ヒト特異的抗体や血管を標的にした薬剤による血管の障害・再生応答を評価する上では、血液灌流を有したヒト血管モデルが必要です。私たちは、ヒトiPS細胞を用いたオルガノイド技術により、肝臓特異的な血管で生じる免疫応答を生体内で解析可能な基盤技術を開発しています。本技術を活用し、ヒト特異的薬剤による免疫血栓のメカニズムを明らかにした成果の一部を紹介させていただきます。

当日ご発表予定の企業を紹介

Human Life CORD JAPAN

出会いたい研究者
再生医療や細胞治療に関する研究・製品開発に興味・ご関心のある研究者

ヒューマンライフコード株式会社

ヒューマンライフコードは、細胞治療のソースとして胎盤と胎児をつなぐ組織である臍帯（へその緒）の可能性に着目し、臍帯から抽出される間葉系細胞を再生医療等製品として薬事承認取得、製品化し、必要とする患者さんとそのご家族のもとへ一日も早くお届けすることを目指しています。本事業活動を通して、へその緒から紡ぐ命のきずなを、従来の医療では救えなかった疾患に苦しむ患者さんの生きる希望へつないでまいります。
「つながる未来」誰もが歳を重ねるごとに楽しみな世界を創ります。
今回は、当社がビジョンとして掲げるこのような世界を実現するため、臍帯由来間葉系細胞の特長を生かした我々の最新の研究開発活動について紹介して参ります。